

農業協 課題解決への取組

日本人 2019 農業法人白書

日本農業法人協会は、掲載内容は▽基礎デー

会員である農業法人約 2050 社の経営動向

や経営課題を把握し、▽経営継承(予定、相談

経営の改善につなげて 先、かかった時間、大変

いくことを目的に一昨 だったことなど)▽労働

年11月から昨年3月に 力不足の実態(雇用形態

かけて「農業法人実態調 別の不足状況、労働力不

査」を実施し、このほど、 足への対応方法など)▽

その結果を「2019年 コロナ禍と農業(消費動

版 農業法人白書」とし 向の変化、ウィズコロナ

アフターコロナの時代に

て取りまとめた。

向けて)▽経営課題の解 決に向けた日本農業法人 協会の取り組み(政策提 言、人材確保・人材育成) など。

調査データの一例とし て、『主業種別の経営耕 地面積規模別の割合』の

項目では、「会員の経営 耕地面積は、稲作の経営 において、全国平均2・

1畝に対して、会員は平 均58・9畝と、かなり大

規模な経営耕地面積であ る」という分析や『経営

課題』の項目では「労働

力(71・5%)がトップ で、2位以下の課題を大 きく引き離している」こ となどを紹介。

そのほか、同法人協会 の活動では人材確保・人 材育成に対する農業イン ターンシップ事業、農作 業安全基礎研修、就職氷 河期世代向けの短期資格 等習得支援事業など取り 組みの紹介なども。

白書は同法人協会ホー ムページ<https://hojin.or.jp/information/>

or.jp/information/ haksyo2019に掲載。